

益田サイバースマートシティ実行計画（益田市）

市保有光ケーブルを用いたIoT基幹インフラの構築によるインフラ維持管理、見守り支援、医療健康支援による行政コスト削減の実現と魅力的地域の創出

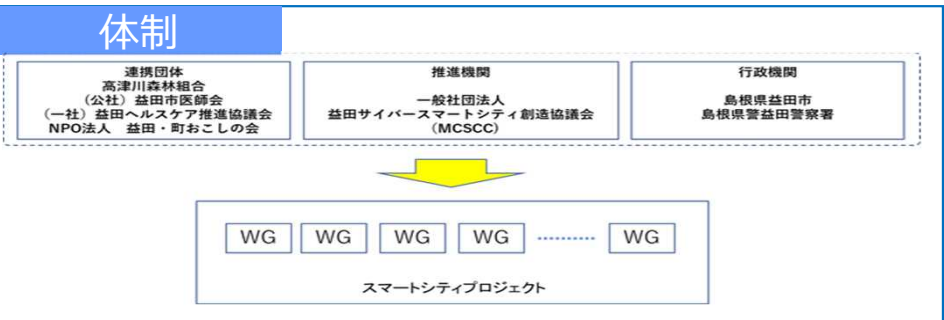
目標	
・IoT化によるインフラ維持管理コスト削減	20%以上（2023年）
・行政視点での利便性向上NPS	50%（2023年）
・職員一人当たりの域内総生産	10%以上（2023年）

取組概要

インフラ 維持管理	<p>小規模河川における水位をリアルタイム監視し、防災・インフラ維持管理に活用</p> <p>カメラを実装したパトロールカーによる道路モニタリングでデータ収集し、AIによるデータ分析による効率的な維持管理</p> <p>電気柵のセンシングにより鳥獣被害の状況確認と人手不足解消</p>
見守り支援	<p>タグ等による高齢者の位置情報や、乳幼児のバイタルデータ取得により、弱者の見守りを実現</p>
医療・健康	<p>ネットワークに接続した血圧計等を通じたモニタリング結果を集約分析することで、健康寿命の延伸・医療費削減</p>
IoT基幹 インフラ	<p>市営の光ファイバー網とLPWA網を組み合わせ、低コストでのIoTインフラ運用と、民間活用による市財政の改善</p>

将来像

- 維持管理（道路モニタリング）**
- 維持管理（水位監視）**
- 見守り支援（老人・幼児見守り）**
- 医療・健康**
- 維持管理（農地管理）**
- ハイブリッドIoT基幹インフラ（光ファイバー網、インターネット、通信キャリア・LPWA）**



スケジュール

2022年より順次実装

<p>実装</p> <p>医療・健康</p>	<p>ハイブリッドIoT基幹インフラ</p>	<p>道路モニタリング</p>	<p>水位・鳥獣被害モニタリング</p>
------------------------	------------------------	-----------------	----------------------